



連絡会は1日、田町マルナカ前で「政治家の裏金計すな！減税するなら消費税－インボイスは廃止！」のテーマで署名と宣伝行動を行いました。

そのたびに景気は落込み、暮らしや商売、経済悪化したとして消費税導入以降、消費税収は累計447兆円になつた一方で、所得税、法人税の減収額は累計613兆円になる。消費税は、所得税、法人税の減収の穴埋めで、富裕層、大企業を優遇する税制は大問題だ」と指摘しました。

自民党政治をいかにして終わらせるか 香川革新懇が講演会

総行全国革新懇を招いて自民かにして終わナーマに学習講演会を開きました。乾氏は、世論調査で10年ぶりの政党と内閣支持率の低迷と、自民党政治そのものの行きづまりを指摘。「自民党は、自身が失政と認める『失われた30年』の中で、資金は上がり、国際競争力も低下するなど経済は落ち込



「東京都知事選挙など、
「市民と野党の共闘」の
全国各地の連帶の行動を
紹介し、「要求実現を根
本的に保障するのは政権
交代で、その土台となる
市民、国民の統一戦線の
運動の推進力となるのが、
革新懇の役割。総選挙に
向け、平和、民主主義、
暮らしの向上などの『3
つの共同目標』を掲げ、
共闘の再構築と発展が重
要だ」と訴えました。

「髪型の自由」と声が上がる▼
「進学時の学費の不安は」には全員
が「心配」という。教育にお金をか
けない政府には「ノー」だ。税金
の使い道は「教育・福祉」に重点を
置けが民の声だ。最後の質問は
「カレー・ライスとオムライスはどう
ちらが好きですか」。みごとに半々
の選択でした▼日本国政府の岸田
首相はアメリカ・バイデン大統領
と会談、「自衛隊が対中国軍事戦
略を進める米軍の指揮下に事実上
組み込まれる」ことだ。さらに
武器輸出にも手を染め、際限ない
軍拡・戦争準備の道を歩み始めた
▼支持率16・6%、最低の政府
にサヨナラして「平和をつくる政
府」をつくりよう。「外交によつて
平和をつくり出す」仕事をする政
府だ。そこに希望が生まれる。

太鼓台界

あつという間に葉桜の季節に。春というよりは初夏の気温、風はまだ冷たいものの時のめぐりは素早い。ハナミズキは黄緑の花をいっぱいにまとって元氣いっふいい。わか葉も天をさして意氣さかん▼町角リレートーク。新校生にシールアンケート。新懇が工夫した大判の板を

民青同盟、香川県委員会委員長の藤沢直人です。民青同盟は日本共産党が活動のアドバイザーで、要求実現のために仲間とともに学び行動する青年団体です。

香川でも3年ほど、学生対象の食料支援活動に取り組みました。

昨年の10月からは駅頭でシール投票を行い、日曜日、月曜日に若者の声を聞いています。直近では香川大学の新入生歓迎会で7日間、加盟を呼びかけました。

若者の反応は「フランスやドイツと日本の学費の差に驚いた」という声や、「軍事費拡大や集団的自衛権について初めて知った」など様々です。

ては、様々な活動で党や支部と協力関係をうまく築いていく必要があると考えています。

民青の対象者がいる集いなどで党支部の活動に連携していくたいですし、逆に、日、月の駅頭のシール投票などでは、孤軍奮闘するときもあるので、ほつとまんぶくプロジェクトのように党支部の方の支援や援助があれば、活動の幅が広がると思います。「若者とのつながりがない」とお悩みならぜひ民青の活動にご助力ください。



頑張つてます民青同明門

【3面から】 運営に取り組んで、文化・芸術は人間が生きる糧であるということを再認識しながら、この分野での日本社会の意識の低さも実感しました。

作にあたって先ずは時代背景があり、大衆や労働者の立場で創作することで、より良い社会にしたいという思いがある。過ちを無かつた事にさせないためにも全国の仲間と一緒に頑張りましょう」と力強く語つていただきました。

讃岐の文学碑めぐり

一茶の西國行脚あんぎやの拠点となつた要々 小林 一茶(一七六三~一八二九)

文・写真

等（觀音寺市）
八二七 その二
深沢 雨根

と、専念寺の住職・五梅法師が同門の俳人であったこと、観音寺は「俳諧の祖」と呼ばれる山崎宗鑑の終焉の地であつた事、などの理由を上げることができる。金毘羅さんにも一茶の句碑がある。一九六三年四月に建立されたものである。

現代語に訳すと、「空には雲雀がさえずり、海辺で人が遊んでいる。潮干狩りをしているのだろう。何とのどかな春の一日だろうか」。「人間」という現代語使用に驚かされる。

一 浜が觀音寺市の海岸（有明）で詠んだ句も残されている
「浦輪を逍遙して」と前書きがある。

長期滞在セシ所ナリ
今其ノ自筆ノ一句ヲ模写拝
大シテ碑ニ刻シ以テ往時ヲ
追慕ス

一茶は、専念寺に三回滞在し、ここから九州や伊予に出かけたのである。寛政四年から七年にかけて一茶が専念寺を特に利用したのは、師匠の二六庵竹阿も観音寺に滞在したことがあるこ

名月や与一が的も
かゝる夜は
(与一とは那須与一宗高のこと)

屋島で詠んだものである。

おんひらく
毘羅まいり
参哉かな

